

# ノロウイルス情報

## ノロウイルス感染者の嘔吐物・ふん便の処理方法

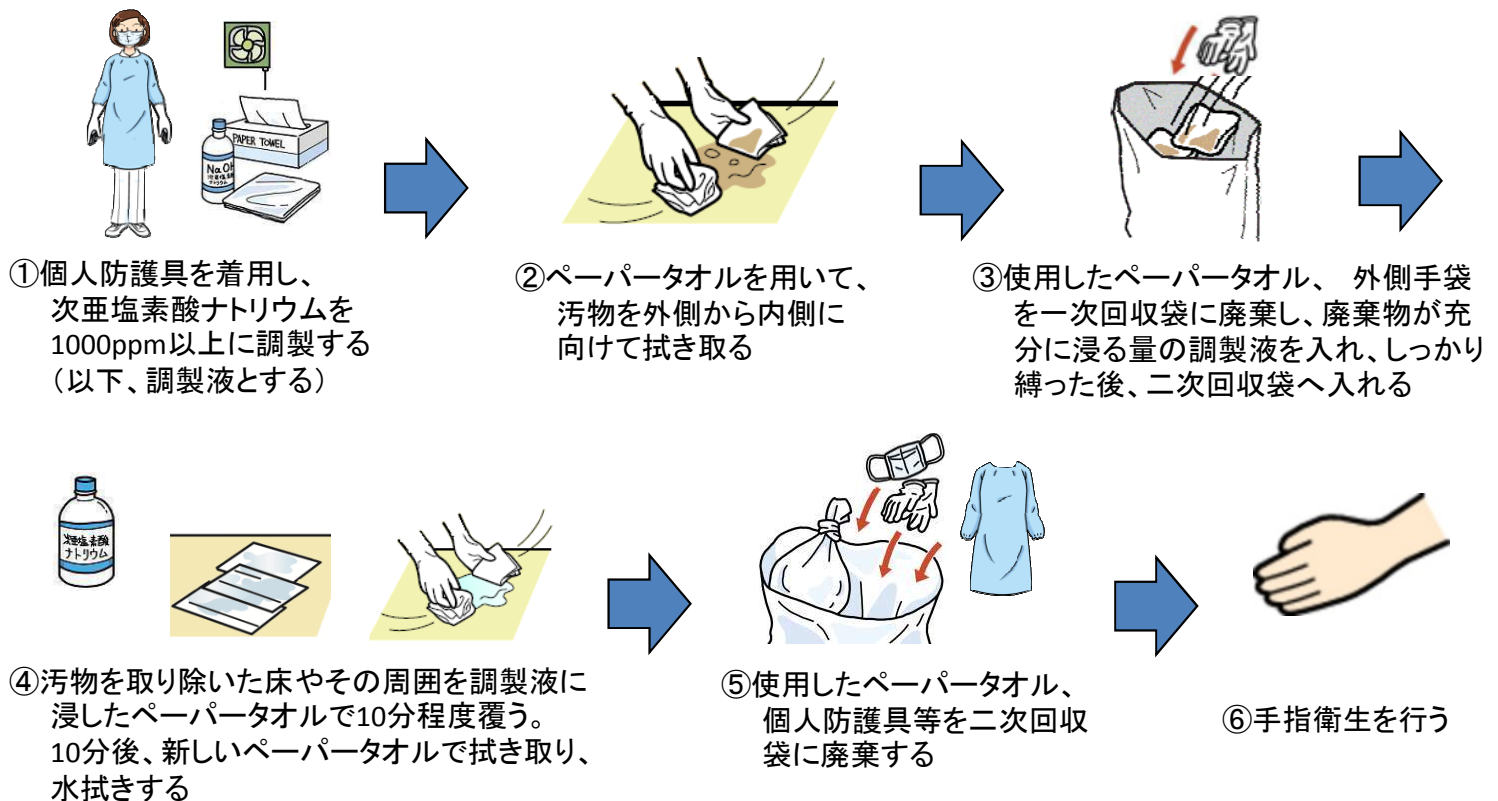
ノロウイルス感染者のふん便1g中には100万個から10億個程度、嘔吐物1g中には100万個程度のノロウイルスが存在するといわれています。嘔吐物が感染源と考えられるノロウイルス集団感染事例では、嘔吐物の「初期段階での消毒不活化処理」が完全でなかったことが感染拡大の原因と推定される事例や、12日以上前にノロウイルスに汚染されたカーペットを通じて感染が起きた事例などがあります。感染源となりうる嘔吐物やふん便などの汚物を適切に処理することが、感染拡大防止の重要なポイントです。

処理の際には、作業員自身への感染や施設内への感染拡大を防止するために、汚物の処理の際には個人防護具を着用し、汚染場所に関係者以外の人を近づけないようにします。また、大きく窓を開けるなどして換気をし、処理後は手指衛生を忘れずに行うことが大切です。

### 汚物の処理方法(例)

#### あらかじめ準備するもの

- 手袋(2双)
- ペーパータオル
- 必要に応じて、ゴーグルやシューズカバー、専用バケツなど
- ガウン(またはエプロン)
- ビニール袋
- サージカルマスク
- 次亜塩素酸ナトリウム



#### 参考資料

厚生労働省. ノロウイルスに対するQ&A(作成:平成16年2月4日 最終改定:平成27年6月30日)  
 東京都保健福祉局. 社会福祉施設等におけるノロウイルス対応標準マニュアル(第3版)(平成25年12月改訂)  
 東京都健康安全研究センター. 「ノロウイルス対策緊急タスクフォース」最終報告. 平成22年9月.  
 サラヤ株式会社. 汚物の処理マニュアルカード.



Norovirus [1]  
© SARAYA CO., LTD.

2016年2月発行  
 サラヤ株式会社 学術部(受付 平日9:00~18:00)  
 TEL:06-4706-3938 FAX:06-6209-0242  
 E-mail:gakujutsu@saraya.com